

1. 研究名称

「TREX2 複合体構成分子・GANP 関連分子の様々な腫瘍における発現解析」

2. 研究目的

mRNA 核外輸送に関係する分子群 TREX2 は、遺伝子の傷害に深く関与しています。この分子群の発現異常が様々ながんの発症に深く関与することを、マウスを用いた実験で明らかにしてきました。しかし、この結果がヒトでも同じか否かを確認しなければ、がん化のメカニズムの解明や治療への応用を行うことができません。本研究では、体の正中に発生した縦隔腫瘍もしくは精巣腫瘍において、この分子群の発現を組織学的・分子生物学的に解析し、この分子群の発現と腫瘍発生や悪性度との関連をヒトで明らかにしたいと考えています。

本研究は、藤田医科大学（研究責任者：医学部 病理診断学講座 講師 酒井 康弘）を主たる研究機関とする多施設共同研究です。

3. 研究対象

本研究の対象となる患者さんは、当院にて 2001 年 1 月から 2020 年 8 月 31 日までに精巣腫瘍もしくは縦隔腫瘍の外科的切除を受けられた方です。患者さんのデータは通常に診療を受けていただく際に記録されるデータであり、また病理データはすでに切除後の組織を用いて検査を行いますので、特別に患者さんに御負担いただいて収集するものはございません。また、過去の診療記録から得られた資料を用いますので、同意書は頂きませんが、患者さんの情報は匿名化され、プライバシーは保護されております。この研究で得られた結果は、医学系の学術集会や医学論文で発表されることがありますが、患者さん個人に関する情報が外部に公表されることは一切ございません。

本研究は、京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を得て実施するものです。本研究に対してご質問のある方、研究資料の入手・閲覧を希望される方、解析結果についてお知りになりたい方、手術を受けられた方が未成年の場合や意思疎通が十分にできない方の場合で、保護者もしくは関係者でご質問のある方、もしくはご自身のデータを利用されたくない方は下記の連絡先にいつでもお申し出ください。なお、もし研究協力を拒まれたとしても患者さんに不利益は一切生じませんのでご安心ください。

患者さんの検体および情報は、藤田医科大学に提供します。

データ利用の目的と趣旨をご理解いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

4. 研究期間

医の倫理委員会承認日から 2025 年 3 月 31 日

5. 研究資金・利益相反

本研究は、運営費交付金により実施します。特定の企業からの資金提供は受けていません。利益相反については、京都大学利益相反ポリシー、京都大学利益相反マネジメント規程に従い、京都大学臨床研究利益相反審査委員会において適切に審査・管理しています。

6. 研究連絡先等：

研究機関名称：京都大学医学部附属病院 病理診断科
対応窓口，研究責任者：吉澤明彦

研究連絡先：

京都大学医学部附属病院 病理診断科 075-751-3488 akyoshi@kuhp.kyoto-u.ac.jp

京都大学医学部附属病院 相談支援センター 075-751-4748 ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp